

使用開始120年！ “櫛型日付印”の変遷と収集のポイント

[饗場 利明 & 杉山 幸比古] 2

カラー連載

発行150年記念・小判切手ここが見どころ！⑨

洪水で生まれた奇跡のサドルカバー [平尾 勉] 1

郵趣風土記〜マテリアルでたどる地域郵便史〜④ [板橋 祐己]

鯖街道と熊川郵便局 8

封書10円時代の“記念・特殊切手”の楽しみ！ 使用面編⑨ [横山 裕三]

「記号入り切手」 10

カラー版 魚木式郵趣⑩ [魚木 五夫]

「書留番号票」「日曜不配達票」 12

押さえておきたい“日本切手の壺”⑦ [山口 充]

三日月型試行日付印 16

カラートピック

第20回アジア競技大会開催に寄せて

郵趣品で振り返る大会の歴史 [市村 正生貴] 14

連載

著名人の手紙 ①75 [新垣 千尋]

小説家・画人 武者小路実篤 31

郵趣家の書斎 〜さまざまな切手収集の楽しみを訪ねて ⑩⑪ [佐伯 幸一]

玉木淳一さん〜映画と史学に導かれて〜 32

最終回 潜入レポート！切手ワークショップに突撃in切手の博物館⑥ [猿渡 千恵子]

作品づくりの1年、その集大成

— STAMP-SHOW2026で迎えた最終回 34

JPS研究会発信！ここに注目！収集のポイント③④

菊・田沢切手研究会の研究成果

[山口 充/菊・田沢切手研究会] 36

切手三昧〜人生は切手と共に ⑧ [山崎 好史]

郵趣的台湾逍遙(大学時代) 38

今月のミニボックス②③〜開催報告〜

第39回昆虫切手展 39

風景印ピックアップ⑩

難読局名の風景印 40

丸ごと！世界新切手ニュース(60ヵ国809種を掲載)

編集部おススメ！話題の新切手から ①52 49

ワールドスタンブナウ ②54 [楢山 哲太郎]

伝統の美意識を見る 50

『ビジュアル版』(図版ページ) 52

『テキスト版』(解説ページ) 65

情報・コミュニケーション

9月のイベント・スケジュール 18

日本新切手ニュース：「第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者ス

ポーツ大会(青森県)」 「ぼすくま」ほか 20

郵趣の目・国内情報：郵便書簡が水のり加工なしに仕様変更 ほか 23

郵趣の目・海外情報：2025フランス切手人気投票結果 / MACAO2026出品一覧 ほか 25

切手の博物館ニュース：「貝のアラカルト」展 ほか 29

BOOKS：「若狭国・越前国の初期郵便印」 / 「世界植物切手分類体系 第4巻」 41

読者のページ おたより喫茶室 42

協会事業のページ

日本郵趣協会創立80周年記念祝賀会開催案内 75

JAPEX2026 出品・寄附金募集 76

「全国ミニ切手展」中間報告 77

研究会一覧 / 研究会・支部定例会 78

開催録 / 次号予告 ほか 79

公益財団法人日本郵趣協会のご案内 80

日次 2026 9 月号

[Whole No.931] Vol.80 No.9

郵趣

巻頭言

全国郵趣大会

今年の全国郵趣大会は8月に大阪で開催されました。多くの学びがあり、全国から集まった皆さんと語り合うことができ、充実した郵趣のひとつきを過ごせました。大会を企画・運営してくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

以前にも書きましたが、日本郵趣協会では、各地方本部の持ち回りで開催する全国郵趣大会を、日本中どこでも郵趣を楽しめるイベントにしていこうことを目指しています。これは、協会の基本方針である「郵趣のバリアフリー化」の取り組みのひとつです。そのため、切手展、講演会、セミナー、切手商ブースを中心とした大会運営をお願いし、それが各地で定着してきました。

今回の大会では、展示作品と記念講演を結び付けた企画と、研究会を中心としたセミナーが特に印象に残りました。

3つの記念講演では、それぞれのテーマに関連した作品が併設の関西STAMP-SHOWに展示され、講演後には多くの参加者が作品を前に語り合う姿が見られました。展示と講演が相互に理解を深める、たいへん意義深い試みだったと思います。

研究会が担当したセミナーでは、専門家による解説だけでなく、参加者が自由に質問しながら学び、研究会ならではの雰囲気を楽しむことができました。私も5つのセミナーを巡りましたが、各会場とも熱気にあふれていました。

日本中どこでも郵趣を楽しめる環境づくりは着実に広がり、各地方本部の創意工夫によって、さらに充実したものになっています。

JPS理事長 山田 廉一



表紙の切手より

イギリス出身のウィリアム・ビューロー・グールドは、1826年に7年間の国外流刑を宣告され、流刑地タスマニアで博物学者のために数多くの博物画を描きました。島内や周辺で採集された植物、鳥類、海洋生物などを精緻な水彩で記録し、なかでもよく知られるマッコリー・ハーバーで描いた魚類の水彩画が切手(53・65㌦)の題材に採用されています。